

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市岩切児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度 25,063人（前年度比 93.6%） ・ 令和2年度 26,791人 ・ 令和元年度 37,048人 	
	《事業》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業 	
5 収支の状況	《費用》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 64,291千円 (70,975千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 	
	《収入》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) 	
6 利用者の声	《実施状況》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。 	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、Facebookの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>「児童館の特性を生かしながらの運営をどう行うか」をテーマに、スタッフ皆で考え運営を行ってきた。</p> <p>○児童健全育成事業 コロナ禍の中で子ども達の居場所をどうつくっていくか悩み考えた一年だった。児童館での遊びを通し子ども達が学び考えることができるよう、日常的な遊びや関わりの中で起きる出来事を共感し話し合える様スタッフ皆で心がけた。</p> <p>○子育て家庭支援事業 児童民生委員さんやいわき子育てネットワークのメンバーとお互いの情報交換に努め、令和3年度の「IkoNet」のリーフレットは防災についてを作成した。児童館に来館した保護者には、ゆったりと過ごしてもらえるように、子ども達の様子を一緒に見守りながら、保護者との対話を大切にコミュニケーションを図ることを基本としていた。</p> <p>○地域交流推進事業 コロナの状況をみながら、工夫し会議や集まりなどを行った。「コロナだから活動しない」のではなく、感染対策をしながら子ども達の為に地域の為になにができるかを模索し、情報交換をし、「太神楽」観劇や「SDGsについて考える」など事業を行うことができた。</p> <p>○放課後児童健全育成事業 新1年生が多く、どうしても密になる状態があり、どう感染リスクを下げるか常に考え、またなかなか集団生活のルールが身につかないなど課題も多かった。スタッフ一人一人が知恵を出し合い、子どもの様子や生活を見直していく機会となり、各々のスキルアップと共に年度末には集団遊びができるようになるなど成長を喜び合うことが出来た一年だった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、児童館便りに家庭でできる工作や運動遊び、テーブルゲームなどを「おうち児童館」として年間通して掲載した。中高生に向けては、児童館の敷地内にテーブルやイスを用意したり職員がゆっくり話を聞くなど様々な工夫をしながら、児童館とのつながりが途切れず安心して利用できるような環境作りを行っている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、児童館に来たら楽しいことがあると感じられるように月間プログラムを作成し自由参加型で実施したり、「プレママ・プレパパ」を開催して、妊娠期からの支援にも取り組んでいる。日頃より子育て支援クラブや小学校のエプロン先生・社会学級の方々と交流を図り細やかな情報共有のもとで連携した支援を行っており、地域が一体となって子どもがの育ちを支える環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、児童館便りを地域で回覧したり、岩切子育てネットワークに参加し「IkoNet」防災編を作成して岩切地区の家庭へ配布するなど、積極的に児童館の取組みや子育て情報を発信し児童館事業の認知向上に努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、同じ団体の八本松児童館とオンラインで交流を図った。どのような交流が良いか子ども達と話し合い、自分達で企画・撮影した動画での紹介や児童館クイズを取り入れた。活動に際して様々な子どもの意見を実現できる支援を行い、新たな広域での児童交流の機会となると共に自主性や社会性が育まれる取り組みとなった。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課